





## 自社資源による災害等支援

阪神・淡路大震災から15年。国内外で、自然災害の被害は後を絶ちません。義援金による経済的支援はもちろ、緊急時に自社製品や資源が役に立つ場合は、

それらを臨機応変に供出するのも企業の社会的責任であると考えています。これまでさまざまな形で提供した自社製品や施設の事例の一部をご紹介します。

### 阪神・淡路大震災で

#### 自社製品による貢献

##### 航空宇宙

自社製の有ヘリコプタ2機を兵庫県と神戸市に無償で派遣し、物資輸送等に貢献しました。また自治体の消防・防災ヘリコプタなど、震災対応のために運航される当社製ヘリコプタにも、整備や点検サービスを行いました。



##### プラント・環境

木材がれきの処理要請にいち早く応えるため、簡易炉2基およびキルン式ごみ焼却設備4基を設置し、膨大な量に上る倒壊家屋などのがれき処理に貢献しました。

##### モーターサイクル

兵庫県にモーターサイクル10台を貸与、ライダー20名余を派遣して、連絡や物資配給の支援を行いました。また、兵庫県警にもモーターサイクル35台を貸与しました。

##### 建設機械

神戸市に建設機械(ホイールローダ)3台を提供し、操作員を派遣しました。



##### 破砕機

神戸市にコンクリートガラ破砕機(ジョークラッシャー)と粗大廃棄物破砕機(ガリバー)を提供し、操作員を派遣しました。



#### 施設の利用

・神戸本社および兵庫県内各工場各事業所が管轄する寮や保養所の浴場を開放し、地域の方々(約三ヶ月で約2万2,000名)にもご利用いただきました。また一部の工場で、非常用発電設備により電力を供給し、地下水の配給も行いました。

#### その他

・工場に備蓄している寝具や暖房器具、他社からご提供いただいた飲料水、非常食などの救援物資を地域の災害対策本部や避難所に分配しました。  
・坂出工場(香川県)は、震災の翌日から神戸工場に水や食料などの救援物資を、また支援要員も派遣し、周辺地域の救援に役立っていただきました。



多用途四輪車「MULE」

ポータブル発電機

### その他の災害で

#### モーターサイクルなど

アメリカのハリケーン「カトリーナ」(2005年8月)では物資などの運搬用に多用途四輪車「MULE」12台を、インドネシアのジャワ島中部地震(2006年5月)ではモーターサイクル20台を寄贈しました。ほかに、イラン南東部地震(2003年12

月)ではポータブル発電機80台を寄贈しました。

#### 建設機械

新潟県中越地震、スマトラ沖地震およびインド洋津波被害ではそれぞれ建設機械(ホイールローダ)1台を寄贈し、がれきの撤去などに役立っていただきました。

## 兵庫県多可町「川崎重工 西谷なごみの森」での「森づくり活動」

### 「企業の森づくり」

当社は、地球環境への貢献をグループミッションに掲げる企業として、地域社会との共生や生物多様性保全への寄与を目的として2008年12月から兵庫県が推進する「企業の森づくり」事業に参加しています。兵庫県多可町の「川崎重工 西谷なごみの森」と名付けた約14haの森林で植林、下草刈り、間伐など、里山林の植生を再生して生態系の保護を進める活動を行っています。

### CO<sub>2</sub>吸収量認証書の授与

2009年度に行った森林の間伐、除伐などの整備活動により、15.61トン/年の二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を吸収したことを認証するCO<sub>2</sub>吸収量認証書が多可町から授与されました。



CO<sub>2</sub>吸収量認証書授与式



第3回森づくり活動

### 従業員と家族での森づくり活動

2010年4月の第3回の森づくり活動は、従業員と家族が参加して植樹、間伐、枝打ち作業に汗を流しました。間伐や枝打ちでは、日が差し込まず昼間でも薄暗かったスギ林が作業を進めると見違えるように明るい森になり、森林の保全・再生に貢献したことが体感できる活動になりました。

活動終了後は、参加者が地元自治会や森林組合の方と一緒に歓談の場を持ち、なごみの森を後にしました。従業員による森づくり活動は、今後も継続して実施していきます。

### 新入社員の「森づくり活動研修」も実施

明石工場の新入社員研修では、植樹と枝打ち作業を体験して環境保全への意識を高める活動を行いました。

## 対地雷除去車の活躍

川崎重工は、外務省の草の根無償事業として、対地雷除去車「MINEBULL」を、アフガニスタンNGOのMCPA(Mine Clearance Planning Agency)に販売しました。「MINEBULL」は2007年8月からオペレーションを開始しましたが、その後2009年

12月には国連機関MACCA(Mine Action Coordination Centre of Afghanistan)の認証を取得し、2010年6月までに、計53万m<sup>2</sup>を超える地雷原を無害化処理しました。これからも人道的地雷除去活動をサポートし、国際貢献に尽力していきます。



MINEBULL